

【別紙1】

審査基準

第1次審査項目（審査委員会）

No.	審査項目	審査基準	配点
1	業務の理解度	本市の現状を把握し、本業務の趣旨や目的を十分に理解した上で企画提案をしているか。	10
2	提案内容	仕様書の内容を効果的・効率的に実施するための具体的な体制やスケジュールが示されているか。	10
3		導入後の運用・保守体制を含め、実現性のあるものになっているか。	10
計			30

第1次審査項目（事務局）

No.	審査項目	審査基準	配点
1	業務実績	地方自治体における類似業務実績	5
2	見積金額	提案内容に対する積算額は妥当か。 配点×（全事業者中最低見積金額/当該事業者見積金額） ※利用料は12カ月に換算し評価点とします。	5
計			10

第2次審査項目（審査委員会）

No.	審査項目	審査基準	配点
1	システム機能性	画面が見やすく、AIモデルの信頼性の根拠が示されたうえ、曖昧な回答や誤回答をしないよう対策が講じられているか。また、常に最新情報を正確に回答できるような仕組みや工夫がされているか。	10
2		利用者の回答精度に対する評価（役に立った/役に立たなかった等）を容易に抽出することができる。また、単なる評価の取得にとどまらず、低評価理由も把握することができ、今後の回答精度向上や分析が可能となる仕組みがあるか。	10
3	管理機能	管理画面が分かりやすく、ログ収集やデータ分析など、運用状況を容易に把握できるか。	10
4		職員によるデータソースの手動更新やFAQデータを学習させる時、管理画面が分かりやすく、操作方法も容易である工夫がされているか。	10
5	操作性	利用者が直観的に操作しやすく、目的の情報まで容易に到達できる工夫がされているか。	15
6	セキュリティ	データセンターやサーバ等のセキュリティ対策として、十分なものとして明確に示されているか。	10
7	運用・保守	運用内容・バックアップ・保守の範囲・障害発生時の対応など、適切な運用・保守サービスの体制が整っているか。	5
8	提案の独自性	独自の技術やアプローチによって生まれる追加の利便性や価値について提案されているか。	5
9	業務遂行能力	本業務に携わる担当者が本システムに関する専門知識やノウハウを有しており、類似事例より実績・経験が豊富で、業務遂行能力を有しているか。	10
計			85
配点合計			125
評価点合計（配点合計点×5人）合計			625